

## 第2回島田市の花・木・鳥制定委員会 要約会議録

- 1 開催日時 平成26年3月7日（金） 午後7時1分開会
- 2 場 所 島田市役所 第3委員会室
- 3 出席者  
委 員 鈴木善彦委員長、菅功副委員長、天野成子委員、伊藤健太郎委員、大須賀隆委員、鈴木りゑ委員、中屋通委員、藪崎公士委員、横山富枝委員  
島田市 濱田秘書課長、大石秘書課長補佐  
欠席者 河村多喜雄委員
- 4 内 容 島田市の花・木・鳥制定委員会
  - 1 開会
  - 2 議事
    - ・ 子供、市民からの意見聴取について
    - ・ 花の候補について
  - 3 その他
  - 4 閉会
- 5 会議の経過の概要

### (1) 子供たちや市民からの意見聴取について

#### <決定事項>

- ・ 子供たちも含め大人も花や木等について知識がない人が多いため、意見をもらうのではなく、決まったものについて伝えていく、広めていく。
- ・ 市民からの意見聴取は、意見が広がりすぎたり、一部の意見に偏りすぎたりする心配があるので、パブリックコメントにより市民からの声を聞いていく。

#### <主な意見等>

##### (委 員)

- 一口に子供たちと言っても、小学生から高校生まで幅が広い。絞った方が良いのではないか。
- 子供たちの声を反映させることは確かに大切だが、子供の意見は短絡的になりがちではないか。子供たちには意見をもらおうと言うよりも考え方や思いを伝えていくことが良いのではないか。
- 子供の声も大事だが、花、木、鳥について詳しい知識がないと思う。

- こうしたことは興味がある人は意見を出す、大抵の人は何も言わない。
- 職場に各市町からの出向職員がいるが、聞くと殆どが自分の市町の花や木を知らない。定着がしていないことにはがっかりした。
- 候補を市民から募ったらどうか。
- 平和都市宣言は文案を作ってから、市民アンケートを実施するようだ。
- 委員会で案を作り、それに対して意見をもらう方が良い。
- 候補が決まった段階で、伝えていったらどうか。
- 広報紙を使って市民に関心を持ってもらうようにしていく。この委員会の検討状況等を定期的に知らせていく。
- 意見を求めるのではなく、こちらから発信することが必要だと思う。
- 決定した後の周知が大事。例えば花がバラに決まったら、苗木を全世帯に配るようなことをしても良いと思う。その予算も確保して欲しい。

## (2) 花の候補について

### <決定事項>

- ・ 花の候補は、現段階では特に絞らない。  
今回、挙げてもらったものは「バラ」「サクラ」「お茶の花」「トルコ桔梗」「ガーベラ」「ササユリ」「ウメ」。その中で意見の多かったものは「バラ」。
- ・ 選ぶ基準として
  - ①市にあるもので、数字で明らかに多い等証明できるものが良い
  - ②シンボルとして発信できるもの、イメージしやすいもの
  - ③育てる、伝える楽しみがあること
  - ④各地域に配慮したものであること
- ・ 次回以降も他に候補として挙げたいものがあれば、言ってもらいたい。

### <主な意見等>

#### (委員)

- 花を選ぶ基準として「市内全体に群生していること」なのか或いは「特別な地域にしか生えていない」ものでも良いのか。最初にそうした基準を定めた方が良いと思う。
- 基準は大切。シンボリックな場所にあるものにするのか。それとも各家庭にあるような身近なものとするのか。
- 市の花として認知されるには、見て楽しむだけでなく育てる楽しみも必要。
- 出荷額が多いことや産業として成り立つ等島田市として誇れるものが良い。
- 多くの市民に愛されるものが良い。
- 数字で表すことができると市民に説得力がある。

- 市の花は複数よりも1つに絞ったほうが良い。複数だと市民の関心が分散して、定着しない。
- 最初は「バラ」だけにはしたくないと思っていた。しかし色々と調べていく内に「ばらの丘公園」というシンボリックな場所があり、来年には全国的なイベントの「ばらサミット」も島田市で開催される。これは島田を全国発信するチャンスだと思う。これらのことを考えると花はバラが良いと思う。
- 花については詳しい知識がないが、実家で栽培していたこともあり、小さい頃からバラには親しんできた。市の花と言うとバラかなと思う。
- 市内で栽培されている主な花としては「バラ」「ガーベラ」「トルコ桔梗」が挙げられる。バラについては市内に18件のバラ農家があり、約3.5haの栽培面積があると聞いている。出荷額は3億3000万で全国2位と聞いている。
- バラは四季咲きから年に1回しか咲かないものまで色々な種類がある。管理はそんなに大変ではないが、秋に咲かせるのは難しい。
- ばらの丘公園も出来た当初は非常に良く手入れされていたが、その頃と比較すると最近は見劣りがするように思う。
- 静岡文化芸術大学では卒業式の時に、卒業生に一輪ずつ島田のバラを渡している。昔、島田高校でもそのようにやったことがある。
- バラの出荷額が多いと言われているが、バラ農家は後継者がいなくて困っていると聞いている。またバラは最近需要が少なくなっている。
- バラは河津にも公園があるし、他市でも市の花としているところもある。島田を象徴しているとは言えないのではないかな。
- 伊太には「ウメ」がある。
- 個人的には「ササユリ」が好き。
- サクラも良い。サクラには「寒桜」や市民会館前の「帯桜」大津にある「しだれ桜」川根牛代（塩本）にある「水目桜」等種類が多くある。
- バラも良いが牡丹も良い
- 島田、金谷、川根が合併して共通して市を象徴しているのは「お茶」ではないか。合併後の市の花としては「お茶の花」が相応しいと思う。
- お茶は最近では掛川も有名。茶草葉農法が世界農業遺産になった。
- 私も小さい頃から茶畑を毎日見ている。市のシンボルとして「茶」は相応しいと思うが、木としてのイメージが強い。お茶の花は可愛らしいが、地味。お茶の木に花が咲くことをどのくらいの人知っているだろうか。
- 市内の学校の花壇などに、シンボルに決まった花を植えて育てるなどしたい。

(3) その他

- ・ 次回は、5月23日(金)午後7時から開催する。場所は第3委員会室北。通知は後日、委員の皆さまに改めて送付する。
- ・ 議題は主に「木」について検討したい。委員の皆さんは自分なりに市の木について考えてきていただきたい。

午後8時32分閉会